

土砂災害は 全国各地で発生。

▶平成30年は過去最多を記録



災害対応
こちから

平成30年7月豪雨（愛媛県宇和島市）

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
がけ崩れ防災週間 6/1▶7

土砂災害発生状況

- ▶ 平成30年は、集計を開始した昭和57年以降、最多となる3,459件の土砂災害が発生しました。
- ▶ 死者・行方不明者161名、負傷者117名、人家被害1,505戸の甚大な被害になりました。



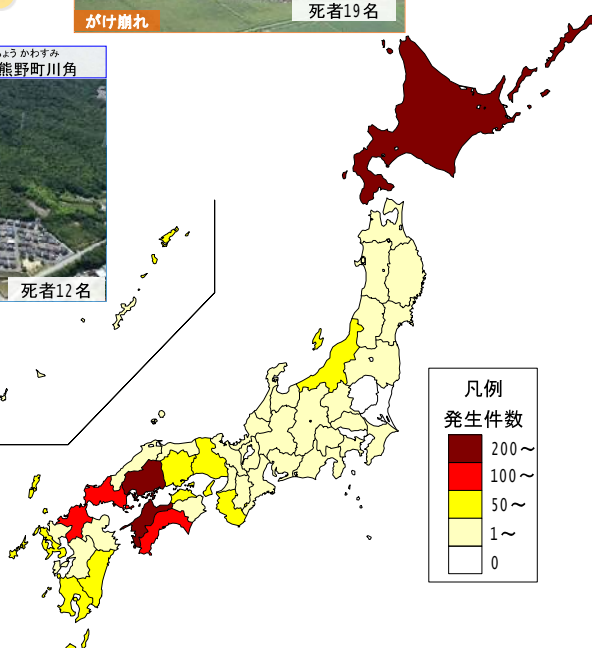
土砂災害発生件数

3,459件

土石流等：985件

地すべり：131件

がけ崩れ：2,343件



凡例
発生件数
200～
100～
50～
1～
0

命と財産 を守る 砂防堰堤

▶土石流・流木を捕捉！



施設の効果
事例はこちら

災害発生日：平成30年7月6日

おのがわ

堰堤名：小野川堰堤（透過型砂防堰堤）

捕捉状況：土石流・流木捕捉量 約 8,000m³

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1→7

平成30年7月豪雨における砂防事業の効果

- 兵庫県神戸市では、死者・行方不明者 695人等の大惨事をもたらした昭和13年7月の阪神大水害の直後から、直轄砂防事業により集中的に砂防堰堤545基等を整備。
- その結果、阪神大水害と同程度の降雨が発生したが重大な人的被害等は発生せず、被害を未然に防止できたと推定。

<過去の被害状況との比較>

S13災

総降水量 461mm



荒田町（兵庫区）の土砂で埋没した家屋

S42災

総降水量 371mm



（中央区）ＪＲ高架北側の堆積土砂

H30災(H30.7豪雨災害)

総降水量 438mm

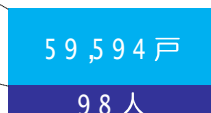


（神戸市須磨区）

■家屋被害
■死者・行方不明者



砂防堰堤174基



砂防堰堤545基



約2,900億円の砂防施設整備で約2兆円の資産を保全



■土石流

※山腹が崩壊して生じた土石等または溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



■急傾斜地の崩壊

※傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象、かけ崩れともいう



■地滑り

※土地の一部が地下水等起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象



土砂災害警戒区域

〔土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域〕

土砂災害警戒区域では・・・

土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難態勢の整備が図られます〔市町村等〕



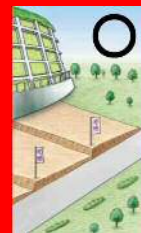
土砂災害ハザードマップの作成・配布
(茨城県鉾田市)



住民による土砂災害ハザードマップ確認状況
(鹿児島県垂水市)

土砂災害特別警戒区域

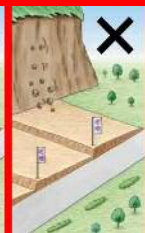
〔土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域〕
土砂災害特別警戒区域では、さらに・・・



特定開発行為に対する許可制

住宅宅地分譲や災害時要援護者関連施設の建築のための行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

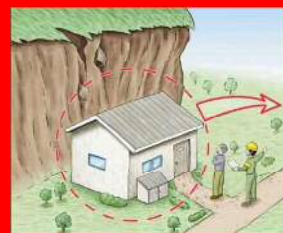
〔都道府県〕



建築物の構造規制

居室を有する建築物は、建築基準法に定められた、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。

〔都道府県または市町村〕



建築物の移転等の勧告

著しい損傷が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。移転等については、住宅金融支援機構の融資等の支援を受けられます。

〔都道府県〕

「いつ」リスクが高まるのかを知らう。

▶土砂災害警戒情報や防災気象情報の確認を！



土砂災害
警戒情報
発表状況
はこちら

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1→7

土砂災害警戒情報とは

降雨による土砂災害の危険が高まったときに市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や、自主避難の参考となるよう都道府県と気象庁が共同で発表している防災情報です。

大雨時は土砂災害警戒情報に注意！

土砂災害警戒情報は、テレビ・ラジオや防災無線のほか、気象庁HP、各都道府県の砂防部局などのHPなどでも確認できます。

雨が降り出したら、大雨警報や土砂災害警戒情報等の防災気象情報に注意しましょう。

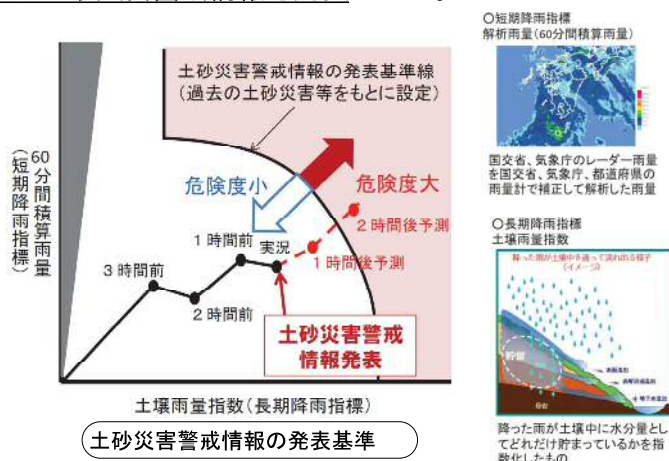
土砂災害警戒情報が発表されたら、市町村が発表する避難勧告等に注意し、いつでも行動できるよう心構えましょう。

危険を感じたら自主的に避難することも重要です。



土砂災害警戒情報のしくみ

都道府県と気象庁は、土砂災害警戒情報の発表基準を、過去の土砂災害発生・非発生時の雨量データをもとに、地域ごとに設定しています。設定に当たって、土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると、発生しやすくなるという特徴があることが考慮されています。気象庁の解析雨量等をリアルタイムで監視し、避難に必要な時間を考慮して、2、3時間後に発表基準線を越えると予測される場合に、土砂災害警戒情報を発表します。





「どうやって」

逃げるか
確認しておこう。

▶ 普段の備えが、命を守る



警戒避難体制・
防災訓練の
情報はこちら



みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1→7

「土砂災害・全国防災訓練」実施概要

1. 実施目的

全国の土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な訓練を行うことで、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図ります。

2. 実施日

令和元年6月2日（日）を中心に実施

3. 実施主体

都道府県、市町村、消防庁、国土交通省

4. 参加機関

- ・住民、自主防災組織、砂防ボランティア等
- ・警察、消防、市町村、都道府県 等
- ・国（各地整等、気象台、自衛隊等）

2019年訓練のキャッチフレーズ

「避難の声かけ、安全の確認」

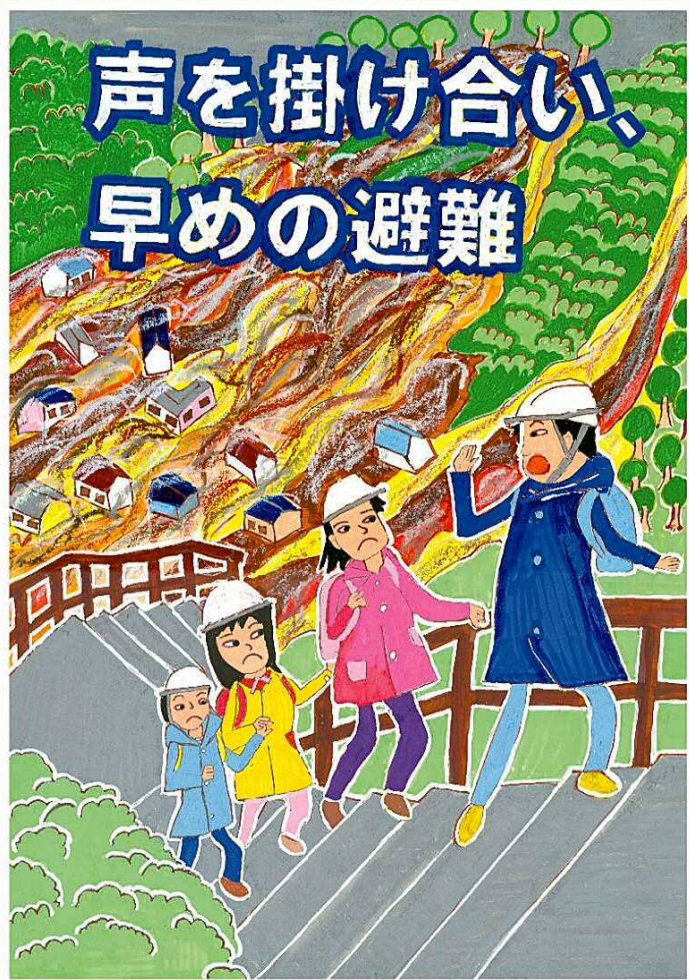
今年の訓練では、昨年の災害で地域の住民や家族が声をかけあうことで避難が進んだ事例が各地で報告されていることから、地域内での声かけにより避難する取り組みや、安全を確認する訓練を重点的に実施する予定です。



恐ろしい土砂災害



声を掛け合い、 早めの避難



平成30年度 土砂災害に関する絵画コンクール
小学生の部 最優秀賞(国土交通大臣賞)
愛媛県大洲市立新谷小学校6年
中田 律風 さん

防災訓練

救われた、あの日学んだ



平成30年度 土砂災害に関する絵画コンクール
中学生の部 最優秀賞(国土交通大臣賞)
群馬県前橋市立荒砥中学校3年 三田 愛佳 さん

砂防堰堤が守る!!



土砂災害防止月間

がけ崩れ防災週間 6/1→7

6/1→30

主催：国土交通省・都道府県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人全国治水砂防協会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、一般社団法人斜面防災対策技術協会、一般社団法人建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会



平成30年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品
土砂災害の怖さがいろんな形で表現されています。